

第1回 北上川上流洪水減災対策協議会

減災対策に係る委員の主な発言（概要）

- ・ 岩手河川国道事務所長、盛岡地方気象台長とホットラインによる緊急時の連絡体制を確保している。災害時に住民の避難を迅速かつ的確に実行することが使命であり、いち早く情報を提供いただき地域住民に周知することが必要である。
- ・ ハードとソフトを一体的に考えていくことは非常に良いこと。積極的に進めて欲しい。
- ・ 避難指示、避難勧告を発令する際の水位基準を事前に十分吟味して設定しており、平成27年9月洪水においては、基準にしたがい発表ができた。基準を設定する時の議論が重要である。
- ・ 自治体間の情報共有を重要視している。
- ・ ダム機能の重要性を認識している。ダムの状況を瞬時に把握できる体制が、ダム上下流の自治体を問わずに重要である。
- ・ 5年間で達成する目標、取り組みと明確な表現を使用しており、強い意志の表れと理解している。
- ・ 洪水の減災対策は、非常に重要である。洪水タイムラインを活用し、『いつ、だれが、何を』を、意識した災害想定訓練が重要である。
- ・ 河川水位の上昇量など、洪水時の情報の把握や共有が重要である。
- ・ 上流の降水量、北上川の今後の水位予測が重要であり、いち早く予測の情報を提供いただけると、住民に対して危険性を周知できる。